令和７年度「人権教育研究推進事業」研究指定校事業

都道府県・指定都市名（　大阪府　）

１．基本情報

研究指定校名	和泉市立幸小学校

○これまでの研究指定等の状況

平成 19・20 年度「人権教育研究推進事業」研究指定校

○学級数

９学級（うち特別支援学級：３学級）

○児童生徒数

111 人（令和７年５月１日現在）

○URL

https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/school/esch/sati/index.html

２．調査研究のテーマ、概要、指定理由

調査研究のテーマ	児童生徒の意見表明権を重視し、主体的に自他の人権を守ろうとする行動力を育む効果的な指導方法

○調査研究のテーマを設定した目的

法務省の「人権侵犯事件の状況について」（概要）によると、インターネット上の人権侵害情報に関する人権侵犯事件のうち「識別情報の摘示」が令和５年度には 430 件に達し、ここ数年で急増している。

近年、特定の地区を被差別部落と示すなど差別的な動画がネット上にあふれており、大阪府内の小中学校においても意図せず子どもたちが動画配信サイトや SNS 等における差別に出遭い、そこで知った差別的な言葉を友だちとのトラブルの中で相手を傷つける言葉として使用するなどの事象も生起している。子どもたちが人権侵害の加害者にも被害者にもなることはあってはならない。

こうした課題を解決するためには、まず子どもたちがインターネットや社会の中で偏見や差別に出遭った際に、それが偏見・差別であることを見抜く力や根拠を持って相手に適切に間違いを指摘するなど、自他の人権を守るための行動力を育むことが重要である。

このような力を育むためには、日々の取組みの中で、個別的な人権課題や情報モラル、情報技術に関する知的理解にとどまらず、「なぜそれが差別になるのか」を子ども自身が考え、「やっぱり差別はいけない」と納得し自他の人権を守るために行動できる力を育む取組みを進めていく必要がある。

その土台として、自分の思いや考えを発することや対話をすることの前提となる「子どもの意見表明権」の保障が必要と捉えている。子どもが安心して学べる環境の中で、自分の考えをもち、それを教室や学校で発言し、課題解決に向けてともに行動していく経験を積み重ねていくことが重要と考える。

これらのことをふまえ、自分の気持ちや考えを発することを子どもの重要な権利として認識し、子どもが安心・安全な環境で、主体的に自他の人権を守ろうとする行動力を育むことができる人権教育を推進していきたい。取り組む研究指定校の研究成果を取り入れ、急増するインターネット上の人権侵害の防止と、すべての人の人権が尊重されるインターネット社会の創造をめざし、府が作成する「ネット上の偏見・差別問題について考える系統的な学習活動体系」のさらなる充実につなげたい。

これらの目的の達成に向けた効果的な指導方法を調査研究するため上記のテーマを掲げた。指定を予定する研究指定校の研究成果を府内全体に普及することで、府内すべての子どもたちが、自分の気持ちや意見を大切にされたという実感を積み重ね、自他の人権を守るために行動できるようにしていきたい。

○調査研究の概要

①現代的な人権課題である SNS などネット上の偏見・差別や人権侵害をなくしていく力をつけるための効果的な指導方法の研究

②すべての子どもが自分の意見を表明する権利を保障され、自他の人権を認め合うとともに、具体的に人権を守ろうとする行動力を育むための効果的な指導方法の研究

○指定理由

幸小学校の実態として、生活保護と就学援助を合わせた受給率は７５％を超え、経済的に厳しい状況に置かれている児童が多い。１人親世帯の割合も高く、家庭で心理的に満たされていない児童が多いことも考えられ、自己肯定感や自己有用感の低いことがアンケート等の結果から明らかになっている。

これらの課題解決のために当該校では特に３つの点に注力している。１点めは「集団づくり」を中心とした学校・学級運営である。全学年単学級のため、児童数が少ない分、学年の垣根をなくし、人とのつながりを大切にした「集団づくり」をすすめている。さまざまな人間関係を構築する中で他者を理解し、自分の気持ちを相手に伝える力を育てる取組みをすすめている。

２点めは「集団づくり」と関連させた「主体的・対話的で深い学び」の実現である。中学校区全体で、児童が主体的に学ぶ授業を推進するため、ペア学習やグループ学習を充実させ、自分の思いを話して相手の話を聞く、自分の考えを書く活動を中心とした学びの形を定着させる授業づくりをすすめている。

３点めは、地域との連携による取組みを積極的に実施することである。自分たちの住む地域に伝わる文化や産業、歴史について学び、地域の課題を知る。それに対して自分たちは何ができるかを考え、行動することで郷土を愛し、「差別を許さない」人権感覚を身につけ、差別を見抜き、差別に立ち向かう子どもを育成する取組みをすすめている。

本調査研究において、さらに取組みの研究を深め、当該校で大切にしている「集団づくり」と地域と連携した取組みの効果検証をすすめ、発信することで、他校へ広く人権教育の取組みを広められることが期待できることから、当該校を研究指定校としたい。

３．取り組んだ人権課題

※　該当するものに〇印。複数選択可。うち、最も主要な人権課題１つに◎印。
※　下線部は、令和７年度事業における重点課題。

① 子供	〇
② 女性	
③ 高齢者	
④ 障害者	〇
⑤ 同和問題	◎
⑥ アイヌの人々	
⑦ 外国人	
⑧−１ HIV 感染者等	
⑧−２ ハンセン病患者等	
⑨ 刑を終えて出所した人	
⑩ 犯罪被害者等	
⑪ インターネットによる人権侵害	〇
⑫ 北朝鮮当局による拉致問題等	
⑬ 性的指向、性自認	〇
⑭ その他（　　）	

４．調査研究の内容等

〇調査研究の内容

〇「集団づくり」を中心とした学校・学級運営
　各学級での集団づくりを大切にするとともに、学校全体で「違いを認め合う」「人とつながる」「自分の生活を見つめる」「自己肯定感を高める」機会をベースとした授業づくりを進める。

〇「主体的・対話的で深い学び」の実現
　中学校区全体で、児童生徒が主体的に学ぶ授業を推進するため、ペア学習やグループ学習を充実させながら、自分の思いを話して相手の話を聞く、また自分の考えを書く活動を中心とした学びの形を定着させる。
〇地域との関わりを深める
　人権総合学習・部落問題学習の中で、地域の方と協働した取組みを実施し、地域の歴史・文化やそこに暮らしてきた人たちの思いを知る中で、児童の「差別をしない・許さない」という意識を高める。
【大阪府として】
　これらの取組みを推進するため専門家を交えた協議会を開催するとともに、府教育庁より大学教授等学識経験者の派遣や府教育庁指導主事の訪問等による指導助言の実施により、研究指定校及び市教育委員会への支援を行う。

〇実施方法

〇学校全体で推進する集団づくりと、地域と連携した取組みの中で児童の自尊感情・自己有用感を育み、自分自身と周りの人とのつながりや育った地域を大切にする心を育てるため、以下の取組みを行った。
・各学級での集団づくりを大切にし、学校全体で「違いを認め合う」「人とつながる」「自分の生活を見つめる」「自己肯定感を高める」機会をベースとした人権学習づくりを進めた。
・教職員が、研究を進めるにあたって、人権教育の指導方法等の在り方について「第三次とりまとめ～指導等の在り方編～」を参考にして、人権教育を通じて育てたい資質・能力から部落問題学習を通じて育てたい資質・能力を考え、３つの部会を設定し研究に取り組んだ。（知識部会、意識部会、行動力部会）
〇別紙の人権総合学習について系統的に取組みをすすめるとともに日々の授業の中で全ての児童に対する学びを保障することで、児童が課題を乗り越える力を育み、将来に向けて希望を持つことができるようにするため、以下の取組みを行った。
・児童が地域に関心をもち、生きていく中で地域を誇りに思えるようになるための実践
　１年生：地域の人から伝承遊びを教えてもらう
　２年生：町探検へ行く
　３年生：地域の移り変わりについて学ぶ
　４年生：地域で活動している人との出会い
　５年生：地域の産業の学習
　６年生：今の自分の生活がどのようにできてきたか考える
〇「子ども」「障がい者」「インターネットによる人権侵害」「性的指向、性自認」の人権課題については、それぞれ「同和問題」に関わる取組みの中で、各学年の人権学習に位置付けて実施した。

〇検証・評価・改善・普及

〇定量的評価として、特に以下の項目について目標値の達成をめざした。

成果指標（アンケート項目）	５月 現状値(%)	結果(%)	目標値 (%)
①　自分にはよいところがある	77.6	72.9	85.0
②　学校に行くのは楽しい	84.5	77.6	90.0
③　将来の夢や目標を持っている	78.6	90.6	85.0
④　地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	80.0	73.7	90.0
⑤　みんなで何かをするのは楽しい	79.5	84.5	85.0
⑥　授業に主体的に取り組んでいる	85.7	79.3	90.0
⑦　人が困っているときは、進んで助ける	89.8	90.4	95.0
⑧　学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている	84.6	82,3	90.0

〇定性的評価として、授業や学校行事、地域の方との交流の中で「褒めてもらった」「役に立った」という感想を持てるようになることや、取組みをすすめる中で児童の人権意識が高まり、周りの人とつながることを大切にしながら、自分自身や学校、地域に誇りを持てるようになった場面も意識して見取っていった。

・日常生活では、よくケンカをしていた子ども同士が、一緒に遊ぶようになったり、教室に一人でいる子どもが友だちと一緒に地域の文化を楽しんでいたりする姿を見ることができた。また、班活動を通して、友だちの話をよく聞くようになった児童の様子が見えた。

（普及）

・大阪府の人権教育フォーラム等において報告し、府域への普及を図った。

・府域に向けて研究報告会を開催して、子どもの実態からつけたい力を目標として取り組んだ内容とその結果（分析・検証）について調査研究事業を通じた実践等の普及を図った。

・委託終了後は、中学校区においてこれまで取り組んできた人権総合学習・部落問題学習の系統性を重視しながら、毎年変化していく児童や地域の実態に合わせて新たな取組みを展開できるよう、今回の調査研究における成果と課題を継承していく。

５．人権教育にかかる年間指導計画

幸小学校　人権教育（教材）　2025年度　年間計画実施表

全体の目標	部落差別をはじめとする人権問題に関する理解を深め、人権を尊重する社会の形成者としての豊かな感性と実践力を身につけた児童の育成
重点目標	◆ 部落差別をはじめ、あらゆる差別に気づき、立ち向かおうとする態度を育てる。 ◆ 自分の想いや考えを出し合い、聞きあえる仲間づくりを進める。 ◆ 主体的に「いきる」「まなぶ」「はたらく」力を育てる。 ◆ 自尊感情を高め、互いの人格を認め合う態度を育てる。 ◆ ひとりひとりの違いを理解し、ともに高めあおうとする態度を育てる。　（人）・・・人権教育教材集、（生）（国）（社）・・・教科書、（仁）・・・副読本にんげん、（自）・・・自主教材　（他）・・・その他

	なかまづくり	部落問題学習	ジェンダー平等	障がい者理解・福祉	多文化共生（在日外国人理解）	その他（平和・環境・SDGｓ）
１年	あいさつのあるいちにち（道） なかよし（道） あなたってどんな人？（道）	ひむかかるた（道） 信太山盆踊り	いえのしごとしらべ（生） ルンルンルン（道）	すみれ・たんぽぽ学級の紹介 学校のかえりみち（道）	がっこうへいくとき（道） スポーツをとおして（道）	平和ビデオ 平和集会
２年	およげないりすさん（道） りえさんのよいところ（道） ある日のくつばこで（道） ふわふわ・ちくちく（道）	こんなに大きくなったよ ～マイストーリー～（生） ぎおんまつり（道） 花火にこめられたねがい（道） わたしたちの校歌（道） 信太山盆踊り	いろいろなしごと（道）	障がい児理解のための授業	タヒチからの友だち（道） 地域のお店調べ（生） メッセージ（音）	平和ビデオ 平和集会 町たんけん（春・秋）（生） マイストーリーの聞き取り（生）
３年	すてきな友だち（音） さとこの落とし物（道） 学級しょうかい（道） 同じなかまだから（道） たっきゅうは四人まで（道）	市の人々のうつりかわり（社） 地域の産業・施設（喜田真珠）の見学（社） 喜葉物語（自） これ全部東京産（道）	「いでがみばくさん」 お母さんのせいきゅうしょ（道）	パラリンピックがめざすもの（国） 言葉でつたえ合う（国） やさしさのバトン（道） バスの中で（道） ボッチャ	同じ小学校でも（道）	平和ビデオ 平和集会 いちばんうれしいこと（道） 助かったいのち（道）
４年	ビリーブ（音） いじりといじめ（道） 交流学習の前に（道）	清そうの仕事（社） 大和川のつけかえ（社） 水平線（国） 識字学級との交流（自）	性の４本軸（自） 大人の体への変化 心の変化	障がい児理解のための授業 西田宗城さん（車いすマラソンランナー）の聞き取り 堀崎根望さん（シッティングバレーボール選手）の聞き取り	特色ある地域のくらし（社） ブルラッシュ（道） いろいろな食べ方（道）	一つの花（国） 世界一美しいぼくの村（国） 平和ビデオ 平和集会 くらしとゴミ・くらしと水
５年	真由、班長になる（道） 森の絵（道） 銀色の墓地（国）	美しい夢―ゆめびりか―（道） 三澤真珠さんからの聞き取り（自） 人権文化センター訪問 フィールドワーク(コース別学習)	古いバケツ（道）	ヘレンと共に～アニーサリバン～（道） みえないって　どんなこと？（人） 点字と手話（国） みんなが使いやすいデザイン（国）	ベルーは泣いている（道） マインツからの便り（道） 韓国の文化を知ろう・体験しよう（李先生出前授業）	平和ビデオ 平和集会 たずねびと（国） 流行おくれ（道）
６年	ぼくたちの学校（道） わたしのせいじゃない（道） ほんとうのことだけど（道） 風切るつばさ（国）	南王子村の歴史（自） 教科書が欲しい（自） ゴゴ　九十四歳の小学生（道） ゲストティーチャーの聞き取り ・岸本さん（幸の町について） ・堺市への松人権歴史館の方 ・Dash　中馬さん	言葉のおくりもの（道） にじいろアイルさん出前授業	心づかいと思いやり（道） 支援学級との交流	日韓併合（社） 日本とつながりの深い国（社） （中国・韓国） エルトゥールル号（道） 東京オリンピック　国旗にこめられた思い（道）	緑の闘士―ワンガリ・マータイ―（道） 杉原千畝（道） 修学旅行・大阪戦跡めぐり 平和集会 発信しよう、私たちのSDGｓ（国） イースター島にはなぜ森林がないのか（国）

６．推進体制（都道府県・指定都市教育委員会等を含む）

